

「東日本大震災」

一人ひとりにできる支援策、

それは節電です。

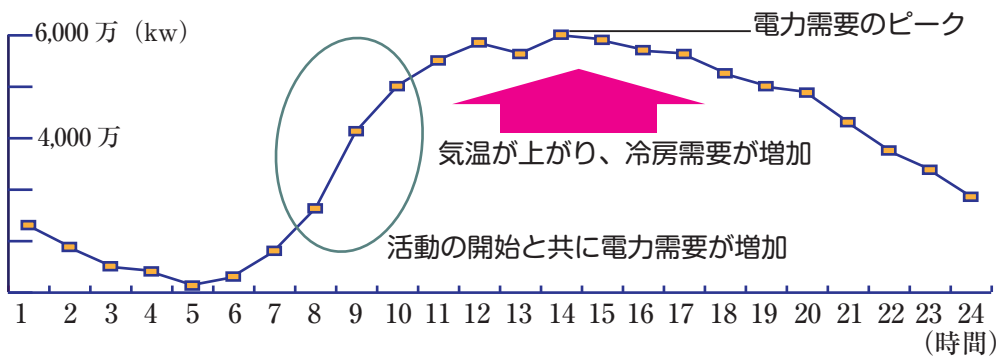
東日本大震災の影響で、原子力発電所と5つの火力発電所が停止し、電力供給力が低下、かつてない非常事態です。

現在みなさんの節電のご協力により需給バランスが改善され、東京電力でも、各地域を輪番で停電させる「計画停電」は今後原則実施しないことに決まりましたが、1日でも早い復興のためにも引き続き節電が必要です。

また夏に向け、気温上昇にともない、冷房の使用などにより電力需要が急増すれば、突発的な停電が発生し、大きな混乱・不測の事態を招きかねません。みなさん一人ひとりの協力による「節電」が必要不可欠です。

7月の一般的な電力需要の推移

- ・冷房需要が増加する昼間（特に午後1時～4時）に電力需要のピークが発生
- ・気温が上昇すれば、さらに冷房需要が増加し、電力需要のピークが大きくなる



県では、現在、東北地方太平洋沖地震による被害対策に全力を尽くしているところでございますが、一日も早い復興に向けて、県民の皆様にお願ひがあります。

今回の震災については、私たち茨城県民も多大な被害を受けておりますが、その中にあっても私たち一人ひとりがすぐに支援・協力できることはたくさんあります。その一つが「節電」です。

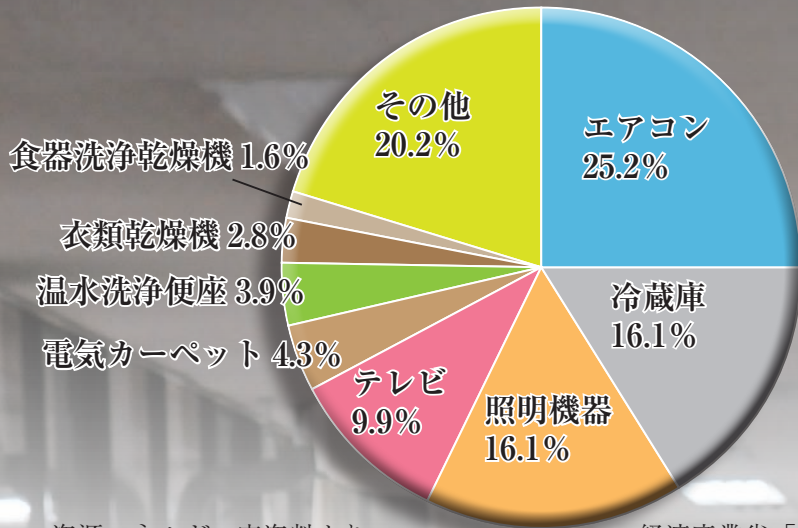
今回の地震により、電力需給バランスが極めて厳しい状況にあります。家庭や事業所で県民一人ひとりが最大限の節電の努力をすることが、安定した電力の供給と今後の復興につながります。

県としても率先して一層の節電に取り組んでまいります。県民の皆様におかれましても積極的な節電にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

平成 23 年 4 月 1 日

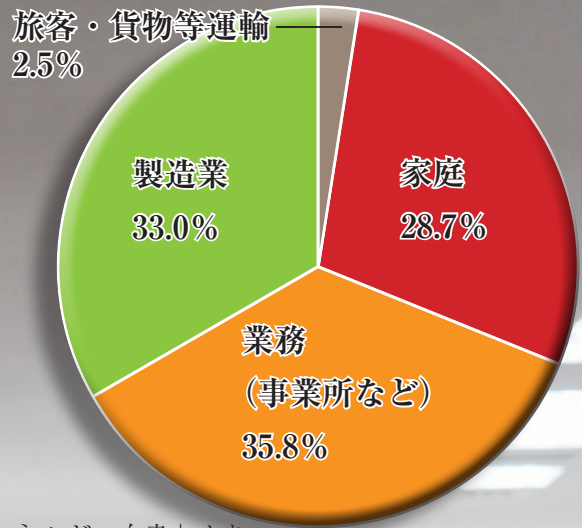
茨城県災害対策本部長
茨城県知事 橋本 昌

家庭における電気消費量の割合



資源エネルギー庁資料より

電気使用料における家庭が占める割合



経済産業省「エネルギー白書」より

電力消費ピーク時のみなさんのアクションが、これだけ節電に貢献します。



エアコン (2.2KW 6畳用エアコンの場合)

●冷房時に設定温度を1℃上げるにより、10%の消費電力を削減できます。またフィルター目詰まりが無い場合、ある場合に比べて6パーセントの消費電力を削減できます。

冷蔵庫 (400リットルクラスの場合)

- 冷蔵強度を強から中に変更したときの省エネ効果は、平均で11%。このとき、冷蔵庫温度は1～2℃、冷凍室温度は2～2.5℃上昇します。
- 冷蔵庫いっぱい詰め込んだ場合に比べ、2分の1詰め込んだ場合は、詰め込み直後の電力は平均で8%削減できます。

パソコン

- 不使用時にコンセントを抜くと、デスクトップで14%・ノートブックで24%省エネとなります。
- 低電力機能として、モニタ電源オフではなくシステムスタンバイ、システム休止を使用すると、デスクトップで14～15%・ノートブックで8～9%省エネとなります。
- パソコンの電源を常時オンしている場合、低電力機能をモニタ電源オフからシステムスタンバイやシステム休止に変更すると、70～90%省エネとなります。

照明 (60ワット形電球形蛍光灯ランプ、白熱電球の場合)

●立ち上がりの影響による消費電力量増加は非常に小さく、再点灯までの時間が1分でも、一度消灯するほうが省エネとなります。またLED電球に交換すると、消費電力を1/8～1/10にセーブできます。

温水洗浄便座

●ふたを閉めることによる省エネ効果は大きく、貯湯式で11%、瞬間式で19%の削減効果があります。また、ふたが開いている場合は、ふたが閉まっている場合に比べて、便座表面温度も低くなり、冬期には貯湯式で平均24℃、瞬間式では平均3℃の差が生じます。

ガス温水機器、テレビ等映像、音響機器等

●家庭の消費電力量のうち約6パーセントが待機消費電力。このうちガス温水機器など給湯機器の待機消費電力が約30%を占め、また上記のパソコンなどのほか、テレビやHDD/DVDプレーヤーなど映像・音響機器の待機消費電力も約25%を占める。使用するときのみ電源を入れるようにすると大きな省エネ効果があります。